



デンソーアイリス

WOMEN'S JAPAN BASKETBALL LEAGUE 2025-26 SEASON

Wリーグで初優勝を果たした、市ホームタウンパートナーのデンソーアイリスの選手の皆さんに喜びの声を聞きました。
問スポーツ課(☎63-6040)

優勝



赤穂選手・木村選手・篠原選手へのインタビュー

一悲願の初優勝。優勝した瞬間の気持ちを教えてください。

赤穂: まずは素直にうれしかったです。初めて勝って終わることができ、会場のスタッフやファンの皆さんのうれしそうな表情や、喜んでいる姿を見ることができて本当に良かったです。



優勝報告の表敬訪問(右から赤穂選手、木村選手、篠原選手、ヴクサノヴィッチヘッドコーチ)

木村: 2年間決勝で負け続けて悔しい気持ちでいっぱいでしたが、それを糧に成長してきました。皆さんと一緒に優勝の喜びを味わうことができうれしかったです。
篠原: 優勝することができてほっとしました。ファンの皆さんをはじめ、関わってくださった方と一緒にうれし涙を流すことができて良かったです。

一シーズンを通して良かったところは。

赤穂: 若手の成長を感じたシーズンでした。個々の能力を理解してプレーできていた点も良かったです。また、終盤は息の合ったプレーができていたことも勝ち切ることができた要因になったと思います。

一印象に残っている試合は。

篠原: レギュラーシーズン第9週のホームゲーム・トヨタ紡織サンシャインラビッツ戦。両チームが上位を争う中、2連勝することができました。上位を争う相手に勝つ自信にもなりました。

一市民へのメッセージ。

木村: 皆さんの応援があってバスケットボールができています。来シーズンも刈谷でホームゲームをたくさん開催するので、ぜひ私たちのプレーを生で見ていただき、皆さんに元気を与えられればと思います。一緒に戦って勝利を味わいたいです。一緒に刈谷を、バスケットボールを盛り上げましょう！

タイトル受賞者

#8



高田 真希 選手
プレーオフMVP・ベスト5

高田選手コメント

刈谷に優勝カップを持って帰ってくる事ができてすごくうれしく思います。チームの勝利や優勝に貢献できた結果がタイトル受賞につながったと思いますが、自分だけの力ではなく、チームメイトの力が大きかったので、チームで取った賞だと思います。

プレーオフファイナルの4戦はチームとしてのレギュラーシーズンの経験や集大成を出すことができた試合だったと思います。タフなゲームでしたが、みんながはつらつと自分の役割を全うして、良い表情でプレーしていたのが印象的でした。

来シーズンの目標は、もちろん優勝です。チーム一丸となって戦っていくことが勝ちにつながると思うので、目の前の一戦を大切にしていきたいです。もっと皆さんに私たちのことを知っていただきたいと思っているので、来シーズンも会場に足を運んでいただき、一緒にバスケットボールを楽しみましょう！

#28



**シラ ソハナ
フアトージャ 選手**
プレーオフベスト5

#4



川井 麻衣 選手
プレーオフベスト5

